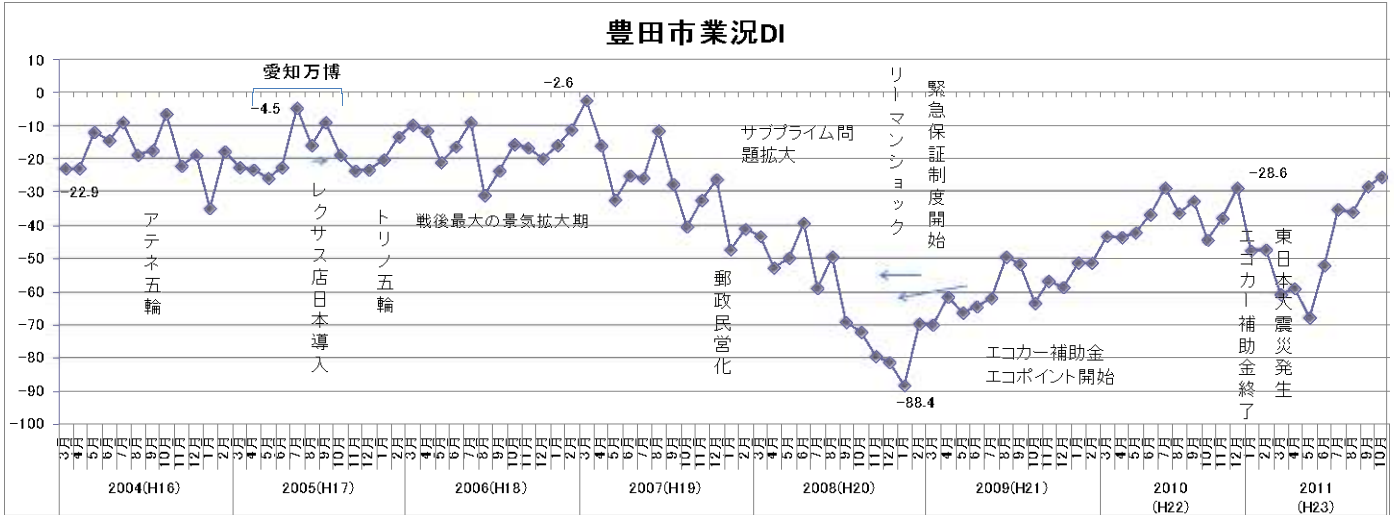


1 現状調査及び分析

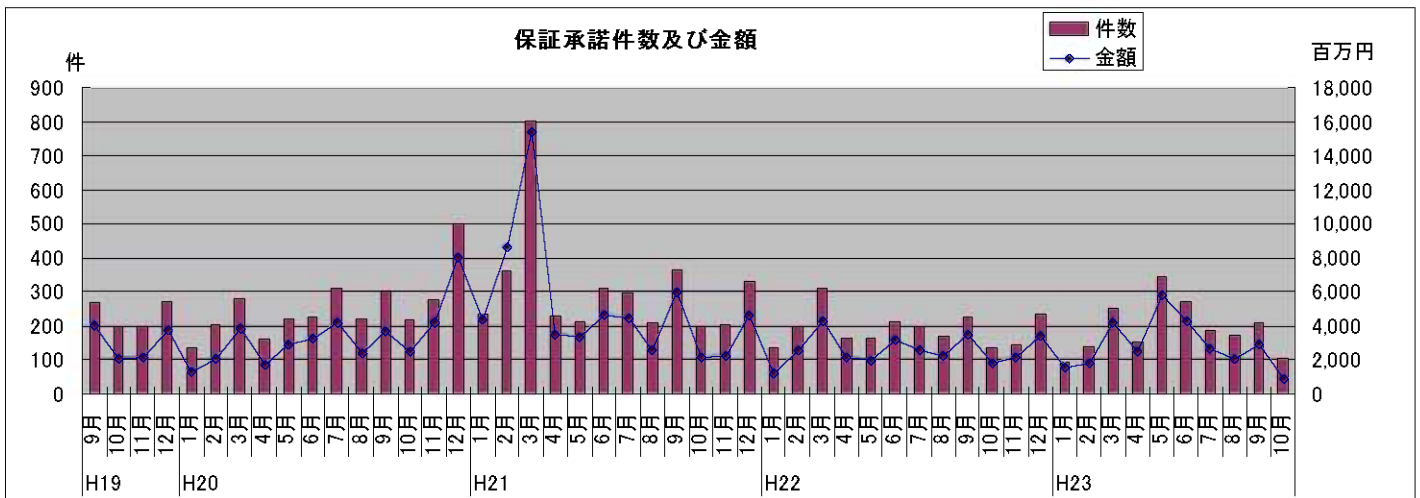
（1）全国及び豊田市業況DI【H23年10月期】（豊田商工会議所LOBO調査より）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H20	全国	▲50.40	▲52.90	▲56.00	▲60.50	▲58.80	▲61.20	▲64.60	▲66.70	▲70.20	▲71.30	▲73.40	▲72.80
	豊田	▲52.90	▲50.00	▲39.40	▲59.00	▲49.50	▲69.20	▲72.10	▲79.40	▲81.40	▲88.40	▲69.70	▲69.90
H21	全国	▲70.40	▲65.70	▲64.20	▲63.60	▲59.60	▲61.40	▲60.60	▲60.00	▲63.80	▲62.30	▲56.20	▲49.30
	豊田	▲61.80	▲66.20	▲64.40	▲61.90	▲49.50	▲51.80	▲63.60	▲56.90	▲58.60	▲51.40	▲51.50	▲43.50
H22	全国	▲45.70	▲39.70	▲64.20	▲63.60	▲59.60	▲61.40	▲60.60	▲40.60	▲38.10	▲38.70	▲40.10	▲45.90
	豊田	▲43.80	▲42.10	▲36.70	▲28.80	▲36.40	▲32.80	▲44.30	▲37.90	▲28.60	▲47.73	▲47.30	▲61.04
H23	全国	▲57.70	▲54.40	▲51.40	▲40.00	▲36.50	▲39.60	▲34.30					
	豊田	▲58.97	▲67.90	▲52.24	▲35.48	▲36.20	▲28.30	▲25.49					



・業況は、東日本大震災により大きな影響を受けていたが、H23年5月を境に回復し、10月にはH20からの3年間で最も高い値となった。

（2）融資状況（愛知県信用保証協会が保証決定した市内事業者の融資）[H23年10月末時点]



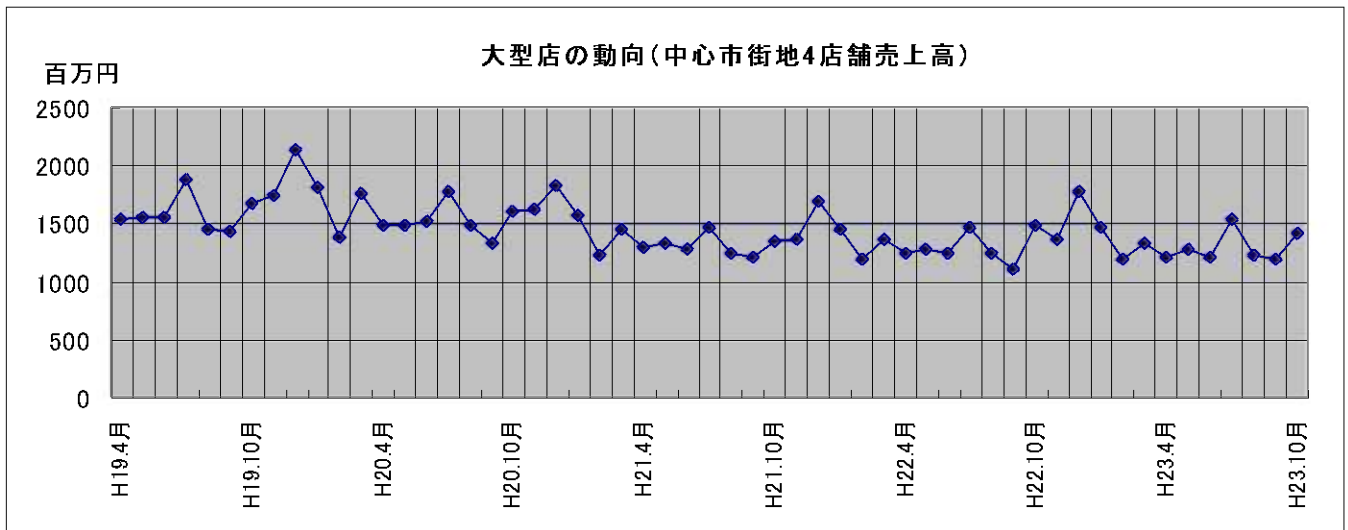
・震災の影響により5月は対前年比207%であったが、10月には対前年比78%と落ち着いてきた。

（3）セーフティ5号関係業種別認定状況 [H23年10月末時点]

年度	建設業	製造業	卸売業	小売業	運送業	その他	計
H20	295件	413件	65件	141件	43件	202件	1159件
H21	382件	390件	69件	168件	44件	274件	1327件
H22	174件	117件	29件	73件	13件	138件	544件
H23	35件	26件	3件	9件	6件	21件	100件

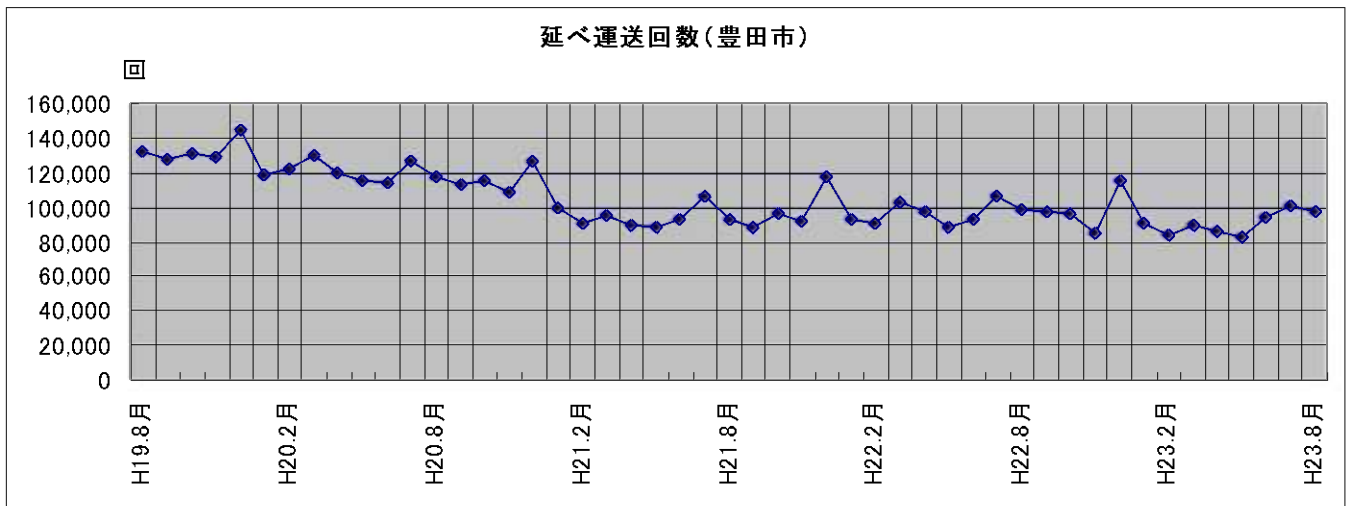
・愛知県ガンバロー資金、東日本大震災復旧緊急保証制度（10月末現在申請：72件）などの新たな制度が打ち出されたため、セーフティ5号関連の認定は低調である。

(4) 大型店の動向（中心市街地大型店4社の売上高）[H23年10月末時点]



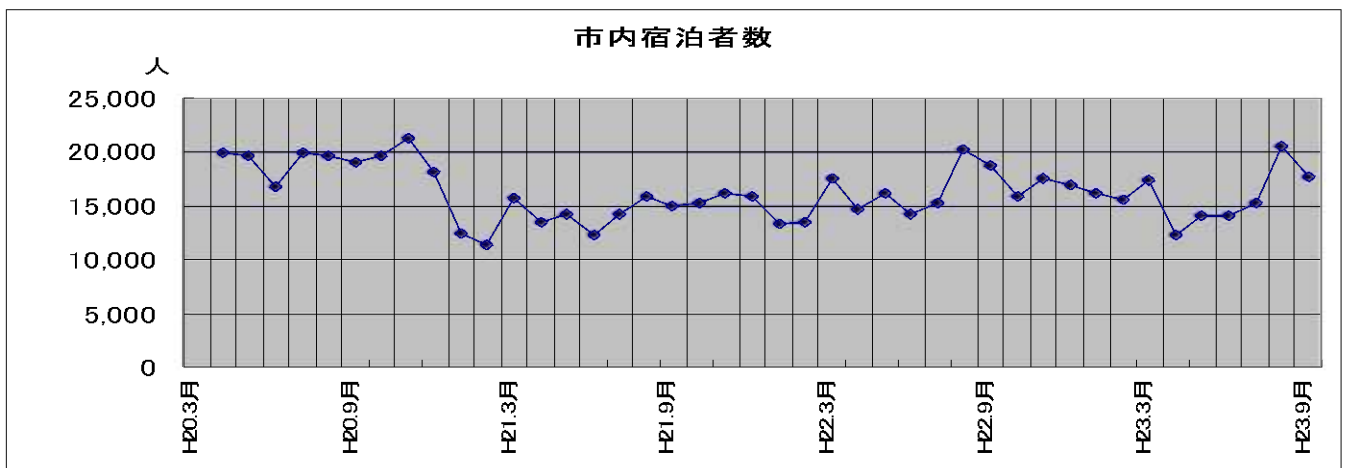
・ H23年の7月、9月は前年を上回り対前年比105%、108%であったが、8月は98%、10月は96%であった。

(5) タクシー業界の動向（述べ輸送回数実績：H23年10月愛知県タクシー協会等にヒアリング調査）[H23年8月末時点]



・ H23年6月は、対前年比101%、7月は94%、8月は100%。7月は、土日操業の影響があったと思われる。

(6) ホテル・旅館業界の動向[H23年9月末時点]



・ 前年と比べ、4・5月は大きく落ち込んだが、6月以降はほぼ前年並みの水準となっている。

2 まとめ

・ 震災、土日操業の影響は限定的であったものの、円高、タイの洪水、ユーロ圏の金融不安もあり、先行きの見通しは不透明。

第14回景況調査（雇用、製造業）

豊田市産業部産業労政課

（1）調査概要

- ◆調査対象：市内中小企業 192社
- ◆調査期間：平成23年11月4日～11月11日
- ◆回収数：86社（45%）

（2）調査対象事業所

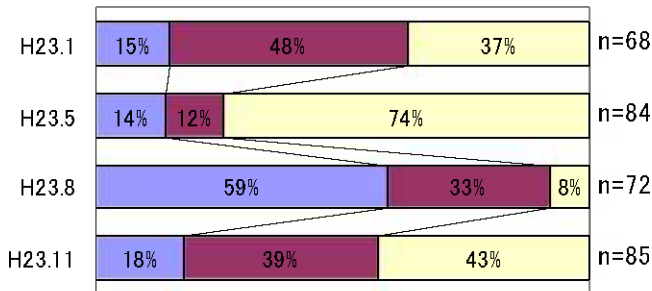
主な事業内容【社】	
自動車関連部品	47
生産設備	13
試作・金型	5
その他	21

従業員数【社】	
300人以上	3
300人未満	79
無回答	4

（3）平成23年後期（7月～12月）の業績について

【先行き見通し】

□好転 ■不変 □悪化

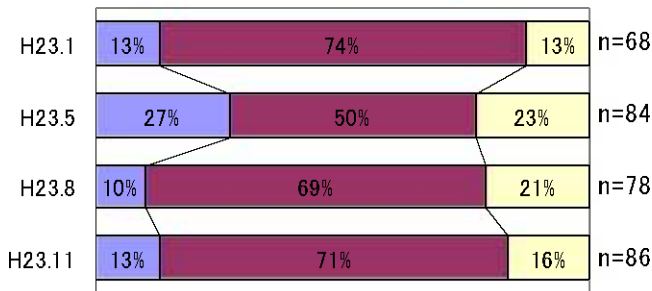


※無回答除く

（4）正規雇用者数の変化

【正規雇用者数】

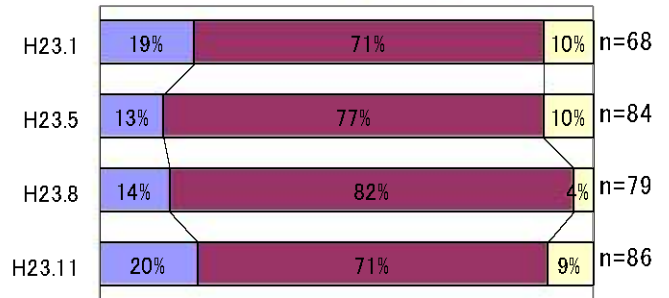
□増加 ■維持 □減少



※無回答除く

【今後の正規雇用者数の先行き見通し】

□増加 ■維持 □減少

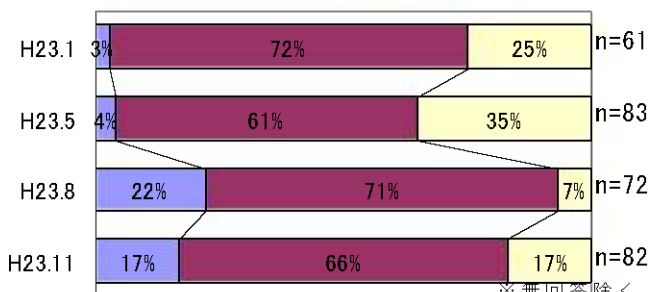


※無回答除く

（5）非正規雇用者数の変化

【非正規雇用者数】

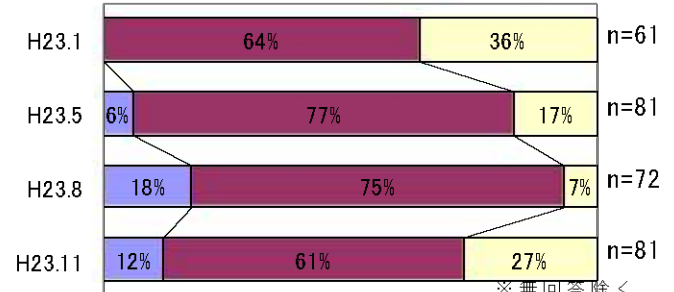
□増加 ■維持 □減少



※無回答除く

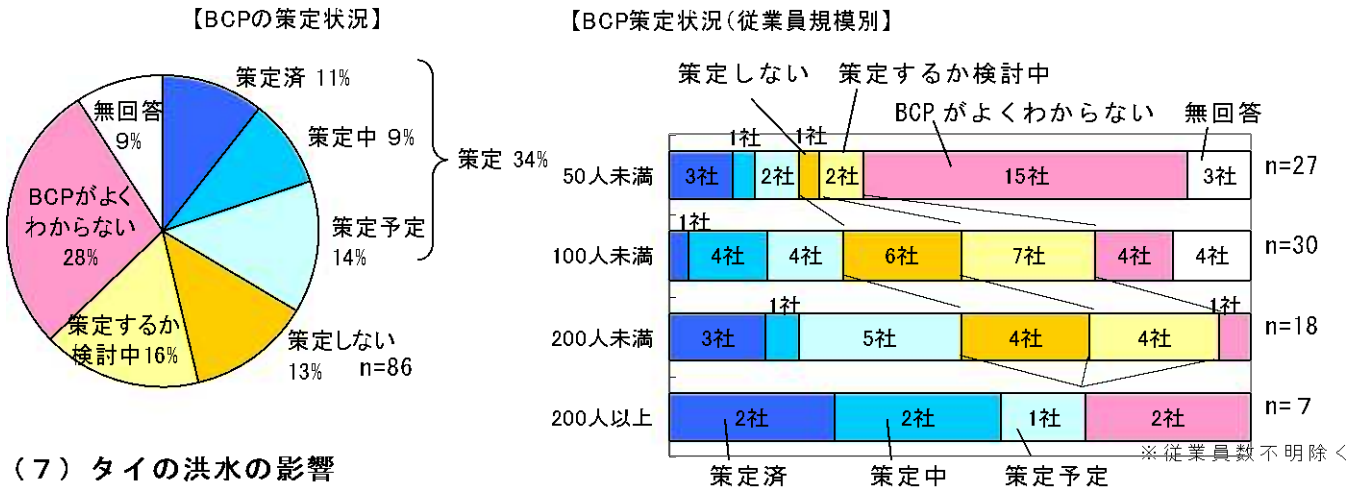
【今後の非正規雇用者数の先行き見通し】

□増加 ■維持 □減少

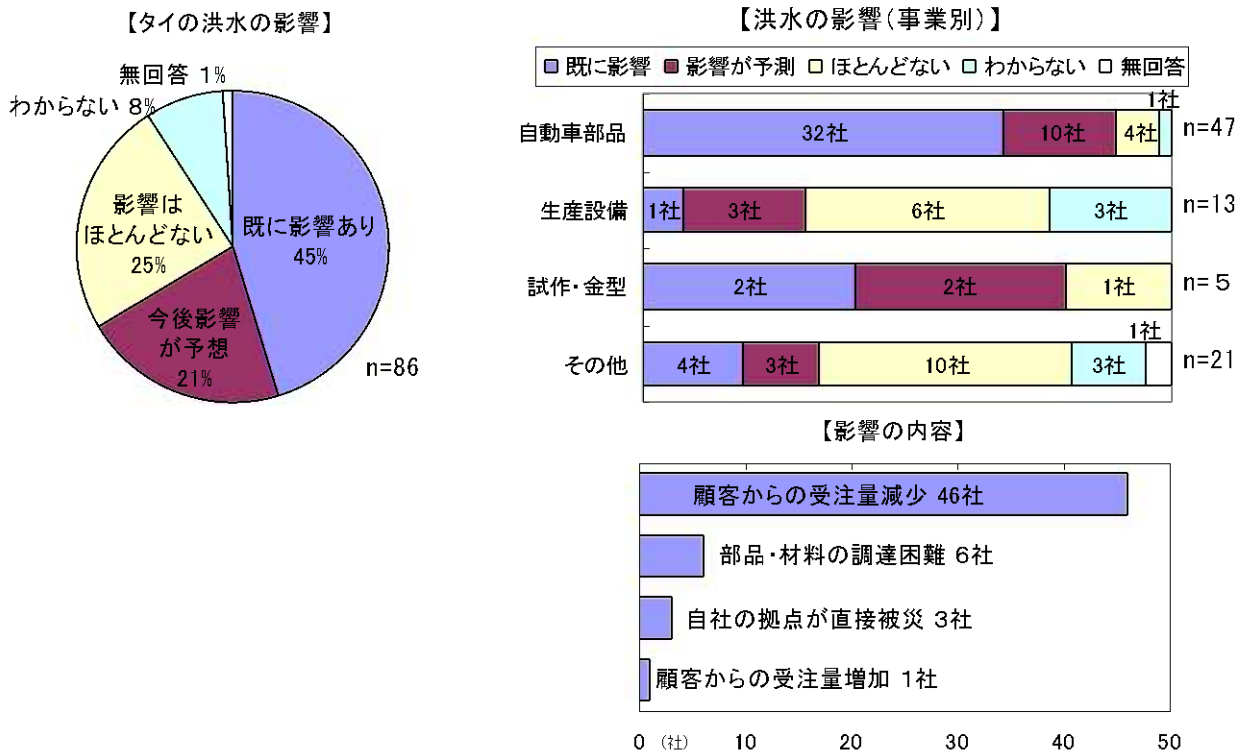


※無回答除く

(6) BCP（事業継続計画）の策定状況



(7) タイの洪水の影響



(7) まとめ

- ①平成 23 年後期の業績については、「好転」しているとする事業所が前回の 59%から 18%へ減少し、「悪化」とする事業所が前回 8%から 43%へ増加している。震災からの復旧に伴い、前回では業績が好転したが、今回はタイの洪水が影響していると考えられる。
- ②正規雇用者数については、前回より「増加」「維持」とする事業所が微増している。今後の見通しにおいては「増加」が 20%である一方で、「減少」を見込む事業所が 9%に増加している。非正規雇用者数の動向については、前回から「減少」したとする事業所が 17%に増えており、今後「減少」を見込む事業所も 27%と前回よりも増加している。
- ③BCP（事業継続計画）の策定状況は、「策定」（「策定済」「策定中」「策定予定」を含む）としている事業所は全体の 34%である一方、「BCP がよくわからない」とする事業所が 28%となっている。これを従業員規模別に見ると、規模の大きな事業所ほど「策定」の割合は高く、また、規模の小さな事業所ほど「BCP がよくわからない」とする割合が高い。
- ④タイの洪水の影響は、「既に影響がある」が 45%、「今後影響が予想される」が 21%と合わせて 66%が「影響あり」としている。影響の内容を見ると「顧客からの受注量減少」がもっとも多く、次いで「部品・材料の調達困難」となっている。ほとんどの事業所が悪影響を受けている中、一部「顧客からの受注量増加」といった影響も発生している。